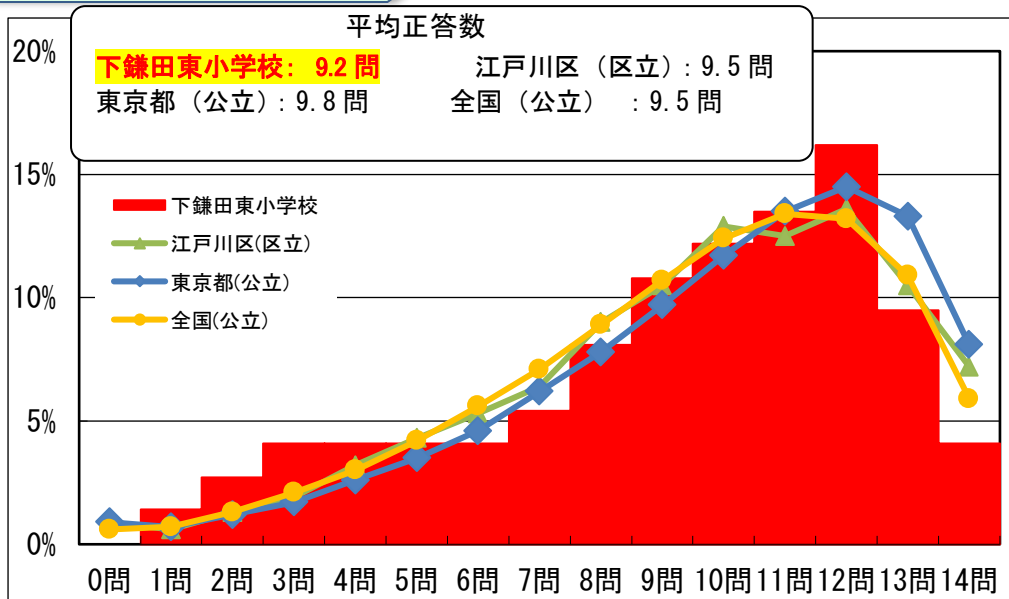


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 下鎌田東小学校

正答数分布



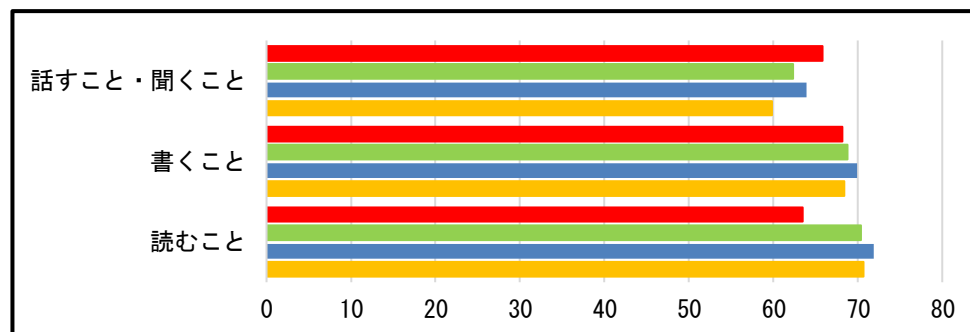
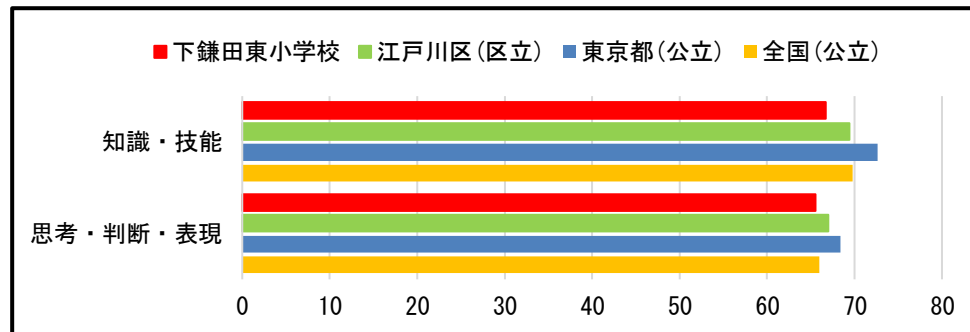
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

| 国語 | A層 12~14 問 | B層 10~11 問 | C層 8~9 問 | D層 0~7 問 |
|-----------|---------------|---------------|-------------|-------------|
| 下鎌田東小学校 | 29.7 | 25.7 | 18.9 | 25.7 |
| 江戸川区 (区立) | 31.3 | 25.4 | 19.5 | 23.8 |
| 東京都 (公立) | 35.9 | 25.2 | 17.5 | 21.4 |
| 全国 (公立) | 30.0 | 25.8 | 19.6 | 24.6 |

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

| | |
|-----------|-------|
| 下鎌田東小学校 | 66% |
| 江戸川区 (区立) | 68% |
| 東京都 (公立) | 70% |
| 全国 (公立) | 67.7% |
| 都との差 | 2ポイント |

%

【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

・「話すこと・聞くこと」領域は全国平均正答率を6%上回り、「書くこと」領域は全国平均とほぼ同じであった。しかし「読むこと」領域は正答率が低く、全国平均を7.2%下回った。特に「描写を基に物語の内容を捉える問題」の正答率が低かった。

【授業改善に向けて】

- ・文節を区切るなど、主述関係を捉えることを意識して文章を読ませる。
- ・読書の時間を充実させ、文章を読む経験をさせる。
- ・文章の内容を正しく読み取るために、文章中の重要な語句をキーワードで捉える指導を繰り返して行う。